

評価結果調書

1 事業の概要について

項目	内容
① 事業名	水質試験所建替整備事業
② 担当部署	水道局工務部水質管理研究センター（06- 6815-2367）
③ 事業目的	最新の分析技術にも対応できる環境を確保し、水道水質管理体制を強化する。
④ 事業内容	水質試験所（現水質管理研究センター）を柴島浄水場内で移転建替を行う。

2 PPP/PFI 手法を導入しないこととした理由について

定量評価では一定の有利さが認められるものの、今後も「水質管理業務」は水道局が担う必要があること、「施設維持管理」は柴島浄水場内の一建物として既に一括発注していること、さらに「設計・施工」は水質検査施設として求める最適な条件設定を行っており、発注にあたって必然的に仕様を限定したものとなることから、民間の創意工夫が活用される余地は少ない。これらの理由から、水質管理業務、設計、施工、維持管理のいずれにおいても、民間事業者のノウハウを活用することによる効果は期待できないと考えられるため、選択した PPP/PFI 手法（DB）を不採用とした。

3 定量評価結果

	従来型手法	選択した PPP/PFI 手法 (DB 方式)
① 整備等費用 (運営費除く)	14.7 億円	13.2 億円 (式: $14.7 \text{ 億円} \times 0.9$ (削減率 10%) $\div 13.2$ 億円)
<算出根拠>	市場価格や過去実績に基づき算出	従来型手法より 10%削減の想定
② 運営費等費用	—	—
<算出根拠>	—	想定せず
③ 利用料金収入	—	—
<算出根拠>	—	想定せず
④ 資金調達費用	—	—
<算出根拠>	—	—
⑤ 調査等費用	—	0.25 億円
<算出根拠>	—	導入可能性調査の費用及びその後の業務委託の費用の想定
⑥ 税金	—	—
<算出根拠>	—	—
⑦ 税引後損益	—	—
<算出根拠>	—	—
⑧ 合計	14.7 億円	13.5 億円
⑨ 合計 (現在価値)	14.7 億円	13.5 億円
⑩ 財政支出削減率 (VFM 試算)	—	VFM は 1.2 億円 8.3%
⑪ その他 (前提条件等)	—	—